



佃中学校たより

令和4年6月1日 NO.4
中央区立佃中学校
中央区佃2-3-2
03-3531-7215
tsukuda-jh@chuo-ky.ed.jp



「行事を通して成長する生徒たち」

校長 志村 昌孝

1年生が入学して2ヶ月が経ち、少しずつ佃中学校での生活に慣れてきたようです。5月23日(月)から体育的学習発表会に向けた全体練習、学年ごとの練習が始まりました。3年生には、中学校生活最後の体育的学習発表会への意気込みや決意が一人一人の姿や態度に感じます。2年生は、長野移動教室を終えたばかりですが、切り替えをして昨年度の経験を踏まえた行動をしようと意欲的です。

この体育的学習発表会は、学級や学年、さらには学校全体のまとまりをつくっていく絶好の機会です。練習をしていくうちに、学級や学年の連帯感がより一層深まっています。この学校行事を通して、仲間と協力してつくりあげていく楽しさや困難さを体験的に学んでほしいと思っています。そして、学級や学年、学校全体の集団としてのまとまりをどのようにつくりあげていくのか、生徒一人一人が考えて行動してほしいと期待しています。

<3年修学旅行>

5月9日(月)から11日(水)までの3日間、3年生が広島、奈良、京都に修学旅行に行ってきました。広島では平和記念式典と折り鶴奉納式、奈良では法隆寺と東大寺大仏殿、京都ではタクシーでの班行動を行うなど、日本の歴史や文化の本物に触れる貴重な学習となりました。



平和記念式典



法隆寺五重塔



奈良公園

<2年長野移動教室>

5月18日(水)から20日(金)までの3日間、2年生は長野移動教室を行いました。1日目は田植え体験、2日目は根子岳の登山とキャンプファイヤー、3日目はカーリング体験を行うなど、3日間とも天候に恵まれ、貴重な自然体験を通じた学習となりました。



田植え体験



根子岳山頂



カーリング体験

離任式

～離任された先生からのお言葉～

【前校長 先生】

こんにちは。佃中学校では、保護者や地域の皆様に支えられ、たいへんありがとうございました。

「こんにちは」のあいさつが明るく響き合う佃中学校は、とてもよい学校だと懐かしく思い出します。学校行事や委員会活動、部活動などに一生懸命取り組む生徒の皆さんの姿が心に焼き付いています。皆さん一人一人が、佃中学校の校風を大切にして、これからも自ら楽しい学校生活を築いていくことを願っています。



【国語科 先生】

佃中学校に赴任してからの2年間は、校舎の大規模改修工事が行われ、工事のなかの日常が当たり前でした。それが終わると同時に発生したコロナ禍での学校生活。非日常の感が強かった4年間でしたが、その中であっても、伝統や目指すものをしっかりもち、学校全体が目標に向かって進んでいく佃中の校風に触れられたことは、とても幸いでした。新しい環境で、伝統につながるような特色ある活動をめざしてがんばろうという思いと共に、佃中学校のますますの発展を祈念しております。

【理科 先生】

活動の制限を強いられる中でも前向きに取り組む生徒たちに囲まれ、あたたかい保護者や地域の皆様にたくさんのご支援をいただき、佃中学校で過ごした3年間はとても幸せでした。数々の出来事が昨日のこのように思い出されます。大変お世話になり、ありがとうございました。皆様のご多幸と佃中学校の益々の発展を心よりお祈りしております。

【ALT 先生】

I am sorry that I wasn't able to stay at Tsukuda JHS longer, but I am so proud of all you've accomplished, and know you will achieve great things in the future.

All my best,
Charlie Owen

【事務主事 さん】

コロナで休校だった頃に初めて佃中学校へ来ました。段々と学校生活が戻り、行事の開催が増えていく中で、皆さんの貴重な学校生活を支えられたことを陰ながら嬉しく思っていました。

4月からは月島にタワーマンションを建てたり、東京駅前や日本橋に新しいビルを建てる再開発事業に携わったりする仕事をしています。

毎日楽しみにしていた給食や生徒の皆さんの活発な姿がとても懐かしいです。短い間でしたがお世話になりました。

※次号にも掲載します。

生徒総会

教諭 船戸 裕生

5月16日（月）に生徒総会が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年度はオンラインで、一昨年度は放送で行いましたが、本年度は3年ぶりに全校生徒が体育館に集まって行うことができました。

各クラスの代表者からの質問を生徒会長、各専門委員会の委員長が全校生徒の前で堂々と答え、委員長としての自覚と責任感を感じさせてくれました。自らが所属する学校をよりよくするために、生徒自らが考え、行動に移してくれることを今後期待したいと思います。

